資料2

# 徳島県耐震改修促進計画（素案）の概要

## 1 改定の趣旨

耐震化の状況や実態調査から見えてきた個別の課題を踏まえ、きめ細やかな取り組みによる地震に対する安全性の向上を図る

## 2 取組の方針

南海トラフ巨大地震，中央構造線活断層地震など、大規模地震発災時の建物被害による「死者ゼロ」を目指す

## 3 計画期間

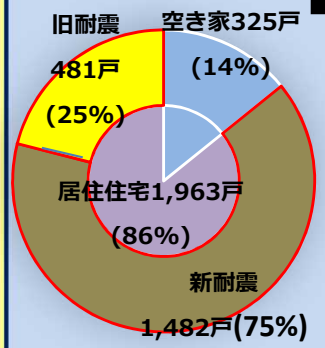
令和３年度から６年度まで

## 4 住宅・特定建築物の耐震化の現状

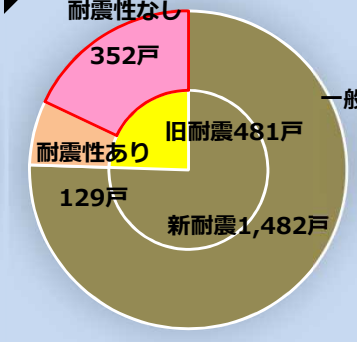
| | 総　数 | 耐震性有の戸数 | 耐震化率 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 特定建築物 | 1,196棟 | 1,138棟 | 95.2% | 学校、病院、庁舎、公営住宅 |
| 住　宅 | 305,300棟 | 250,109棟 | 81.9% | H30住宅・土地統計調査による |

## 5 実態調査の結果

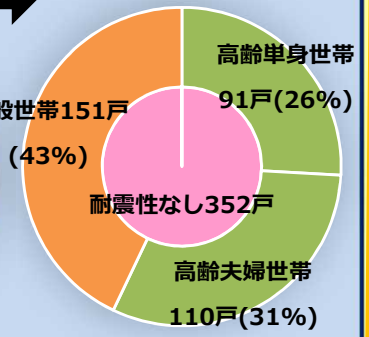
実態調査の内訳




「居住」住宅の状況




「耐震性なし」住宅の状況

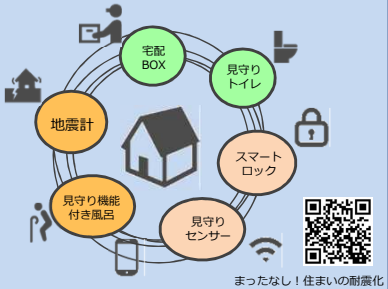



- 一般世帯はリフォームなどとタイミングがあえば改修する
- 耐震性のない住宅の約６割が高齢者単身、夫婦世帯
- 高齢者世帯は「後継者がいない」との理由で改修を諦めている

## 6 計画を実現させる取組

○　市町村などと連携した戸別訪問を実施し、「耐震の必要性」や「支援制度」を改めて周知

○　世帯状況に応じた下記の対策を講じる




まったなし！住まいの耐震化

**一般世帯**

- スマート化や補助期限設定により耐震化を促進

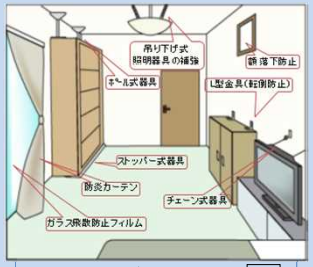
**高齢者世帯**

**別居の後継者を持つ高齢者世帯**

- スマート化（見守り）を動機付けに実家の耐震改修

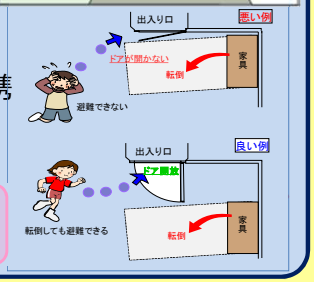
**高齢単身、夫婦世帯**

- 家具固定など地震被害を最小限にする減災化へ誘導
- リバースモーゲージによる耐震化や住替えへ誘導




**介護が必要な高齢者世帯**

- 地域包括支援センターや地域のケアマネージャーとの連携
- 家具配置の工夫など最低限の安全確保へ誘導




**目標：きめ細やかな取り組みにより「死者ゼロ」を目指す**